

令和四年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 意**
- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1** から **3** までで、**六** ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。
- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄らんに**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」しゅうりようの合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(七)の各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① 意思の疎通を図る。
- ② 世の中の動きに敏感だ。
- ③ 少ない費用で賄う。
- ④ 友人を家にまねく。
- ⑤ 弟のそうだんに乗る。
- ⑥ 試合に負けてふんきする。

(二) 次の①、②の傍線部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 負傷者を手厚くかいほうする。

ア、	会報
イ、	快方
ウ、	開放
エ、	介抱
- ② 郷里に電車できせいする。

ア、	帰省
イ、	氣勢
ウ、	既成
エ、	規制

(三) 敬語を、尊敬語、謙讓語、丁寧語の三種類に分類したとき、次の①、②の傍線部分に用いられている敬語は、三種類の敬語のうち、どれか。あとのア～ウから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 先生からの伝言を承る。
- ② 食品売り場は地下にございます。

ア、尊敬語 イ、謙讓語 ウ、丁寧語

(四) 次の傍線部分と用法・はたらきが同じものはどれか。あとのア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

家の中で遊ぶ。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ア、ラジオのニュースで知った。 | イ、ノートにペンで書く。 |
| ウ、仕事を風邪で休む。 | エ、大会は学校で行われる。 |

(五) 次の①、②の文の傍線部分が慣用句となるように、□に入る最も適当な言葉を、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 娘の成長ぶりに、□を細める。

ア、	目
イ、	首
ウ、	息
エ、	口
- ② 過去の事を、□に流す。

ア、	島
イ、	川
ウ、	雨
エ、	水

(六) 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか。あとのア、イから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

双魚	難	達	鳳	池	之	波
そうぎよ	がたし	たつし	ほうち	の	なみ	し
ア、双魚達し鳳池の波に難し	イ、双魚達し難し鳳池の波に	ウ、双魚鳳池の波に達し難し	エ、双魚鳳池の達し難し波に			

(「古今著聞集」による。)

(七) 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

大通りに近い家の中で、
 大路近なる所にて聞けば、
 車に乗りたる人の、
 有明のをかしきに簾あげて、
 「遊子なほ残りの月に行く」といふ詩を、
 声よくて誦したるもをかし。馬にても、さやうの人の行くはをかし。

さやうの所にて聞くに、泥障の音の聞こゆるを、いかなる者ならむと、
 やりかけの用事、するわざもうち置きて見るに、
 あやしの者を見つけたる、いとねたし。

(注1) 有明 ————— 有明の月。夜明けになお空に残る月。
 (注2) 泥障 ————— 泥よけの馬具。

- ① 傍線部分①「をかしき」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。
- ② 傍線部分②「声よくて誦したる」の主語はどれか。次のア、イ、ウから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。
 ア、車に乗りたる人 イ、遊子 ウ、いかなる者」
- ③ 傍線部分③「いとねたし」とあるが、「いとねたし」と感じているのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次のア、イから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、泥よけの馬具の音がしたので大通りに近い家の中から外をのぞくと、馬だけが通り過ぎていったから。
 イ、泥よけの馬具の音がしたのでどんな人が馬に乗っているのかと外を見ると、期待通りの人ではなかったから。
 ウ、やりかけの用事を置いて月を見ながら歌を歌っていると、自分と同じ歌を旅人が声に出して歌っていたから。
 エ、やりかけの用事を置いて簾をあげると、大通りを通る牛車がじやまをして有明の月が見えなかったから。

(次のページへ) ←

(『新編 日本古典文学全集 枕草子』による。)

* 一部表記を改めたところがある。

別紙のツバメについて書かれた文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 傍線部分(1)「大きさ」の品詞はどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、名詞 イ、副詞 ウ、連体詞 エ、形容詞 オ、形容動詞

(二) 波線部分①「見え」、②「見」の動詞の活用の種類の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、①―上一段活用 ②―上一段活用 イ、①―上一段活用 ②―下一段活用
ウ、①―下一段活用 ②―上一段活用 エ、①―下一段活用 ②―下一段活用

(三) 二重傍線部分④「孵化後およそ一週間から十日ほどで足の大きさは親とさほど変わらない大きさになっている」、二重傍線部分⑤「十日目の段階で体の大きさはほとんど親と変わらなくなっている」とあるが、この二重傍線部分④と⑤から筆者はどのようなことがわかると述べているか。「……こと。」につながるように、本文中の言葉を使って、十字以上二十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(四) 傍線部分(2)「運んでくる餌は虫の仲間です」とあるが、この部分は、いくつの単語に分けられるか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、八 イ、九 ウ、十 エ、十一

(五) 傍線部分(3)「また」の言葉のはたらきはどれか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、前に述べたことが、後に述べることの原因・理由となる。(順接)
イ、前に述べたことと比べたり、どちらか選んだりする。(対比・選択)
ウ、前に述べたことと、後に述べることとがくいちがっている。(逆接)
エ、前に述べたことと並べたり、それに付け加えたりする。(並立・累加)

(六) 傍線部分(4)「餌乞いと呼ばれる行動」とあるが、その行動として適当なものを、次のア～オからすべて選び、その記号を書きなさい。

ア、体を覆う羽根をふわふわにして太って見せる。
イ、口の中に餌をつめたままにする。
ウ、翼を羽ばたかせる。
エ、首を持ち上げて振る。
オ、大きな口を開けて「ジュイジュイジュイ」と鳴く。

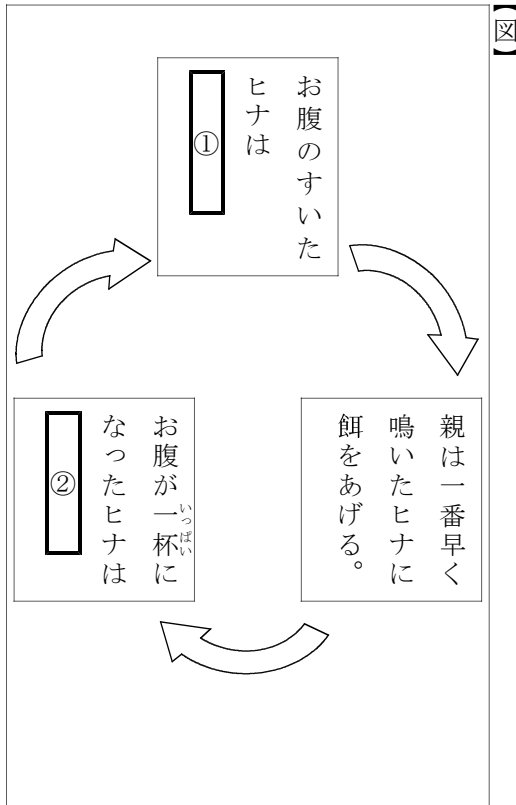
(七) ツバメの親がヒナに餌を与える様子であらわしたものとして適切でないものはどれか。次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、ツバメは、一時間に何度も餌を運び、巣の中にいるヒナに餌を与える。
- イ、ツバメは、餌を持って戻ると、必ず巣のふちにとまってヒナに餌を与える。
- ウ、ツバメは、複数のヒナに餌を分けて与えず、一度に一羽だけに餌を与える。
- エ、ツバメは、お腹をすかせたヒナを一瞬で見極めて、優先的に餌を与える。

(八)

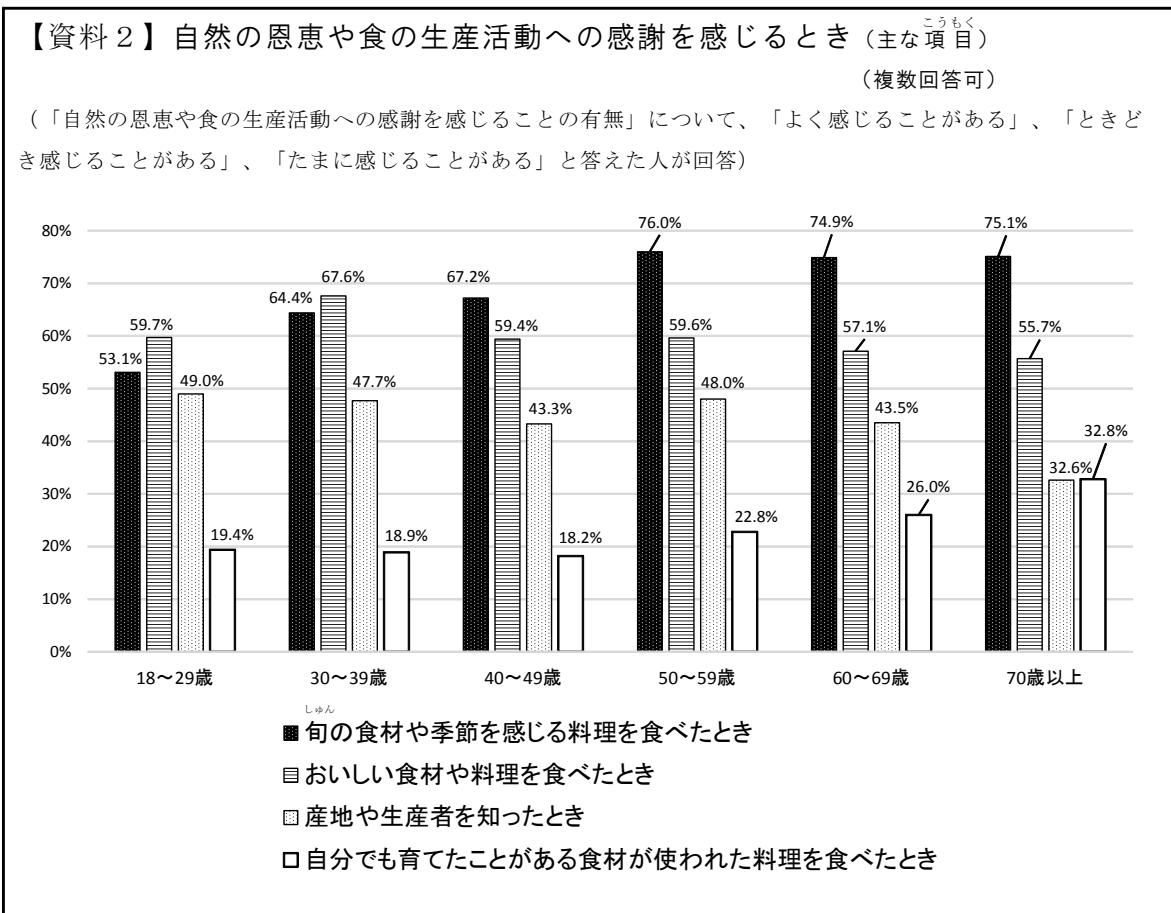
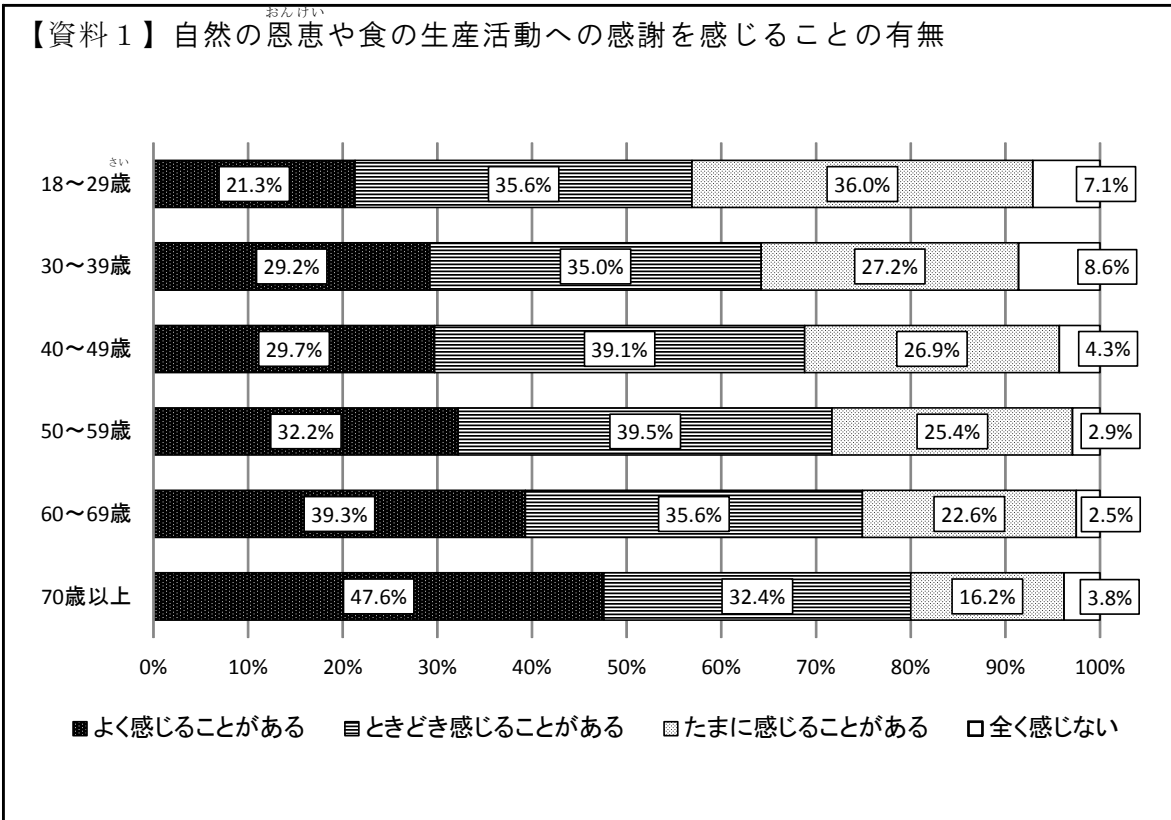
傍線部分(5)「これを繰り返して、ツバメの親はヒナに均等に餌を与えることがわかってきました」とあるが、あとの【図】の①、②の餌が行き渡るために、親とヒナが繰り返す行動の仕組みを表したものである。あとの【図】の①、②に入るヒナの行動の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、①―巣の最前線で他のヒナよりも早く鳴こうとする。
②―巣から餌を下に落とす。
- イ、①―巣の最前線で他のヒナよりも早く鳴こうとする。
②―巣の後ろに下がる。
- ウ、①―巣の最前線で親からもらった餌を複数のヒナで分け合う。
②―巣から餌を下に落とす。
- エ、①―巣の最前線で親からもらった餌を複数のヒナで分け合う。
②―巣の後ろに下がる。



(次のページへ) ←

次の【資料1】、【資料2】は、内閣府が実施した「食生活に関する世論調査（令和二年度）」についての結果をまとめたものである。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。（十二点）



〔内閣府「食生活に関する世論調査（令和二年度）」から作成〕

(一) 【資料1】から読み取れることについて、あてはまらないものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、「よく感じることもある」と答えた人の割合は、十八歳から二十九歳が最も小さく、年代が上がるにつれて大きくなっている。
イ、「よく感じることもある」と答えた人と「ときどき感じることもある」と答えた人を合わせた割合は、どの年代も五割を超えている。
ウ、「たまに感じることもある」と答えた人の割合は、十八歳から二十九歳が最も大きく、年代が上がるにつれて小さくなっている。
エ、「全く感じない」と答えた人の割合は、どの年代も一割に満たず、年代が下がるにつれて小さくなっている。

(二) 【資料2】の「自然の恩恵や食の生産活動への感謝を感じるとき」のグラフからあなたが考えたことを、次の「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 二段落構成で書き、第一段落には【資料2】の十八歳から二十九歳のグラフから読み取れることを他の年代と比較して書き、第二段落には、第一段落で書いたことをもとに、あなたが考えたことを書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を二百字以上二百四十字以内にまとめなさい。

— おわり —